

# natsuda

Danse sacrée et danse profane au Pays d'Extrême Orient

# Matsumiya

Photon Emission

# Arroyo

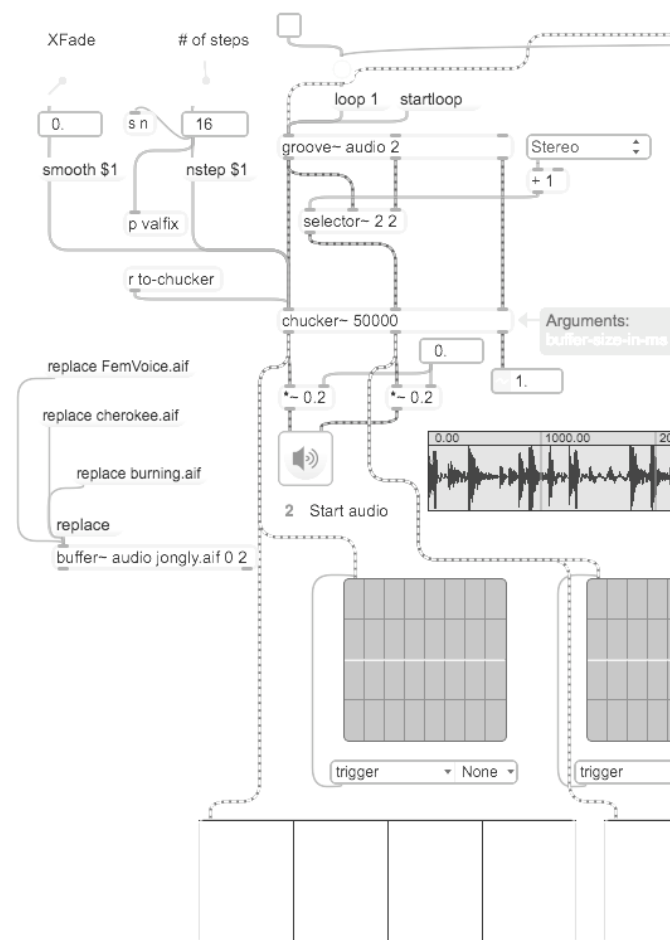
Sikuri

# JODLOWSKI

Mixtion

# improvisation

## SAXOPHONE LIVE ELECTRONICS



TOKYO WONDER SITE

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL Vol.8

サキソフオン、エレクトロニクスによる空間表現の現在

HIROE YASUI - KEITA MATSUMIYA - HIROMI WATANABE

2013.11.26 TUESDAY

OPEN 18:30 / START 19:00

場所：トーキョーワンダーサイト渋谷

入場料：2500円

申込み方法：氏名、電話番号、ご希望の公演名と日時、チケット枚数をご記載のうえ、  
件名を「フェスティバル申込み」としてEmailもしくはFaxでお申込みください。

※定員になり次第締め切らせていただきます。※公演日前日の17時をもってご予約の受付は終了いたします。

E-mail: [tef2013@tokyo-ws.org](mailto:tef2013@tokyo-ws.org)

Fax: 03-3463-0605

Website: <http://www.tokyo-ws.org/archive/2013/10/post-145.shtml>

フランスで活動する演奏家、作曲家、音響リアリゼーターによるプロジェクト・パフォーマンス。

新曲初演を含むサクソと電子音響によるミクスト作品を4作品紹介し、リアルタイム音響とマルチチャンネルスピーカーによる空間表現のデモンストレーションおよび解説、そしてサクソと電子音響による三者コラボレーションの即興演奏を加えたプログラムとなっている。専門の異なる三者による音楽の現在への追求、およびテクノロジーと伝統的音楽表現の現在を、解りやすい形で日本の観客、来場者に味わって頂きたい。

## 安井 寛絵 SAXOPHONIST

2005年、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同年渡仏し、国立セルジポントワーズ音楽院高等科を審査員全員一致の最優秀賞受賞、同音楽院の最高課程修了、室内楽科を審査員全員一致の最優秀賞並びに審査員特別賞受賞、パリ13区モーリスラヴェル音楽院を審査員全員一致の最優秀賞受賞、ポーラレンヌ音楽院の最高課程修了。2012年、パリ国立高等音楽院、第二課程（修士課程）を審査員全員一致の最優秀賞で卒業し、同音楽院第三課程（博士課程）に初めて女流サキソフォニスト、また初の日本人サキソフォニストとして入学。在学中に数々のコンクールにて優秀な成績を修める。（アドルフサクソ国際コンクール = フランス ソリスト部門優勝、日本管打楽器コンクール第3位受賞、スロベニア国際コンクール第2位受賞、UFAM国際コンクール審査員全員一致で優勝並びにピュッフエクランポン賞受賞、ピカルディ音楽コンクール一等賞受賞、レオポールベラン音楽コンクール一等賞受賞。）メイヤー財団、ソシエテジェネラル文化財団、野村財団奨学生。これまでに江戸川フィルハーモニー、サンジェルマンアンレーポンピエ吹奏楽団、OLCパリ国立音楽院卒業生選抜オーケストラ、パリ国立音楽院サキソフォンアンサンブルとコンチェルトを競演。

最近では電子音楽や、映像を用いた現代音楽作品の研究を精力的に行っており、数々の作曲家とコラボレーション活動をし多くの初演作品を担当している。また即興演奏の分野ではコンテンポラリーダンスや映像、無声映画、電子音響を用いて様々なジャンルの演奏形態を展開し、フランスを中心にヨーロッパ、南米等で演奏会や、マスタークラスを行っている。現在パリ国立高等音楽院、第三課程DAI現代音楽演奏科、即興演奏科、室内楽科に在籍し研鑽を積む傍ら、パリ13区立 Le centre d'animation、Villeneuve-le-Roi 音楽院、Puteaux音楽院、ブルターニュ国際サキソフォンアカデミーの講師として後進の指導にもあたっている。UZUME サキソフォンカルテット、現代音楽アンサンブルREGARDSのメンバー。日仏現代音楽協会会員。

サキソフォンを水内由味、新井靖志、福岡和男、須川展也、クリスチャン・ヴィルトゥ、ジャンイブ・フルモー、エルワン・ファガン、クリストフ・ボア、クロード・ドゥラングルの各氏に師事。室内楽を須川展也 中村均一、クリスチャン・ヴィルトゥ、マリリーズ・フルモー、イタマル・ゴランの各氏に師事。現代音楽をヘスン・カン、ジャン・マックマナマ、即興演奏をアレクサンドロス・マルケアス、ヴァンソン・ルコングの各氏に師事。

## 松宮 圭太 COMPOSER

東京芸術大学大学院にて作曲を古川聖、夏田昌和の両氏に学ぶ（先端芸術表現専攻）。修了後渡仏。アラン・ゴーサン氏の指導を経てパリ国立高等音楽院作曲科に入学、作曲をフレデリック・デュリユー、ジェラルド・ベソン、電子音楽をルイス・ナオン、楽曲分析をクロード・ルドゥ、指揮をジョージ・ペーリヴァニアの各氏に師事し、作曲科第一高等課程（学士）および第二高等課程（修士）修了。在学中に発表したクラヴサンと電子音響のための「ダングルペール讃」（演奏：ブルーノ・マルタン）が好評を得て、ラジオ・フランスの音楽番組フランス・ミュージックにて紹介、放送される。現在、分析科高等第二課程に在籍し、ミカエル・レヴィナス氏に師事。2011/2012 IRCAM（フランス国立音響音楽研究所）研究員。2012年3月、イルカム・エスパース・プロジェクトにおいて、ヴィオラと電子音響のための「奇想曲」がノエミ・ピアロプロダ氏によって初演される。音楽院の修了制作として発表した室内オーケストラと電子音響のための「ソリトン」がジャン＝フィリップ・ヴュルツ指揮、パリ音楽院卒業生オーケストラに演奏され、好評を得る。2010年度武生作曲賞受賞者。日仏現代音楽協会会員。

継続的に情報音楽を学びつつ指揮実践も行う両面から、制作においては数理モデル、音響オブジェ、身体の理の間での相互協調を模索しており、昨今は特に楽器間の相互作用および協同効果の点において考察を深めている。

現在、IRCAM、サン＝テティエンヌ大学研究者らの協力を得てコンピュータ支援作曲の研究を進めている。制作および研究に対してこれまでにロームミュージックファンデーション、メイヤー財団より奨学助成を受けている。2012年9月にはクラングシュペーレン音楽祭（オーストリア）から委嘱を受け、アンサンブルTIMF（指揮：スーユル・チョイ）によってアンサンブルのための「風露 - 風配」が初演されている他、サントルアカント夏期講習会2011においてフランス国立ロレーヌ管弦楽団（指揮：ジャン・ドロワイエ）によってアンサンブル作品が初演されている。その他、統宮国際音楽祭（韓国）、武生国際音楽祭、ブルターニュ国際サキソフォンアカデミーなどを含め、アジア、ヨーロッパのフェスティバルにおいて作品が演奏されている。

## 渡邊 裕美 ACOUSTIC DIRECTOR

静岡県出身、パリ在住。東京藝術大学音楽学修士課程終了後、渡仏。電子音楽の制作を始める。電子音響音楽をレジス・ルヌアル・ラリヴィエール、並びにクリスティヌ・グルト、コンピュータ音楽をオクタヴィオ・ロペス、並びにロラン・ポティエに師事。2009年にはベルギーのMusiques et Recherchesにて、2012年にはフランスのFutura2012にてアクスモニウムの講習会を受講。またIRCAM主催のアカデミー（旧サントル・アカント現代音楽講習会）ではコンピュータ音楽のワークショップを受講。同年、パンタン音楽院にて審査員満場一致の最優秀でディプロム(DEM)を取得。同時にSACEMより奨学金が授与される。CCMC2011ではベルトラン・ドゥブドゥー氏によりACSM116賞を受賞。2007年から2009年までロータリー国際親善奨学生。作品はCCMC2011（東京）、Futura2011（フランス・クレ）、Les Acousmonautes（フランス・マルセイユ）、Kaaf2012(大阪)などで上演されている。現在はサンティエンヌ大学にて情報音楽プログラマー養成課程Master2ProRIM に所属。音響の空間表現に関心を寄せながら、他のアーティストとのコラボレーションを通じて独自の音世界を追求している。

トーキョーワンダーサイト渋谷

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-19-8

渋谷駅より徒歩8分 ※駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。

